

さまざまな意見と向き合っ

平成29年度 市政懇談会開催報告

市民の皆さんと行政が互いに情報を交換し合い、交流を図る場として市政懇談会を5月から9月にかけて実施しました。今年も各地区のほか、東京圏で活躍する笠間市出身の方やゆかりのある方との意見交換会などを開催し、のべ274人が参加しました。

市内各地区で行う懇談会では、アンケート調査を行い、212人中169人から回答を得ています（回収率79・7％）。調査結果をもとに、参加者の性別や年齢構成のほか、懇談会に参加した感想などをお知らせします。

◇性別、年齢

性別では、約80％が男性の参加者で、女性は約20％に止まっています。年齢別では60歳代が最も多く58・0％、次に70歳代が27・2％、50歳代が7・1％と続いています。40歳代以下の参加者は計4・2％と少ない状況です。

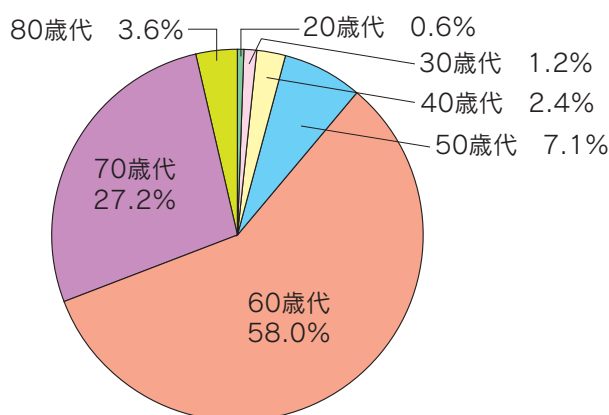
さまざまな世代の方々のご意見を市政に反映させていくためには、20歳～40歳代の参加者を増やしていく必要があると考えています。

◇参加した感想

次に参加した方はどのように感じたかを調査結果からみてみると、「参加してよかった」65・7％、「まあよかった」21・9％で、あわせて87・6％の方が肯定的に評価しています。

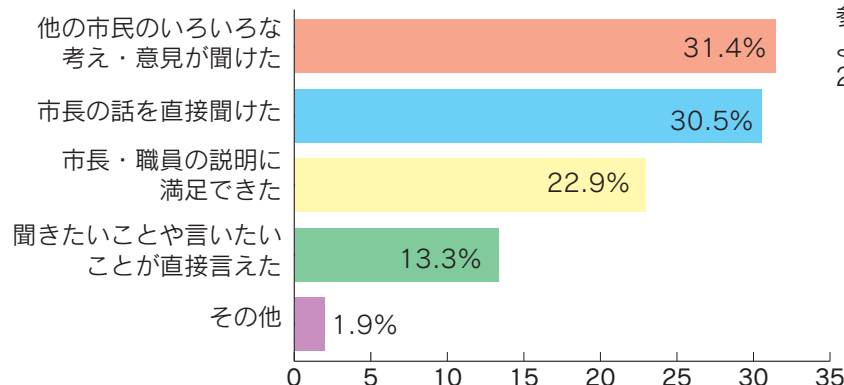
反対に否定的な評価は、「参加してよくなかった」2・4％、「あまりよくなかった」1・2％でした。なお、「無回答」8・9％でした。

●参加者の年齢

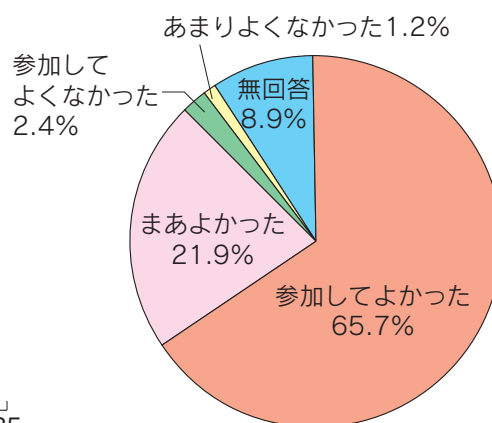


「市長の話を直接聞いた」「他の市民のいろいろな考え、意見が聞けた」がそれぞれ30％を超えています。

●肯定的な評価の理由



●参加した感想



今年約200件のご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。懇談内容の詳細については、ホームページ「市政懇談会（平成29年度）」をご覧ください。

市営住宅の今後について

笠間地区の市営住宅がだいぶ老朽化している。今後どのようにしていくのか。

市営住宅を整備していく予定はありません。長屋形式の市営住宅には、新たに入居者の募集はしていません。一つの棟に数名が残ったら、市で補助をしても別の市営住宅に移っていただけるように働きかける必要もあると思います。その方が全体的に見ると経費はかからないと思います。

ドローンの活用状況

市ではドローンの活用について、何か考えているか。

市の広報活動に使用するほか、都市計画課で空家調査や開発行為に伴う現地確認業務などに使用しています。

アンケート調査の結果からみると40歳代以下の参加者が極めて少ないのが課題です。今後は若年層の皆さんが参加しやすいよう改善していきますので、笠間の未来を担う皆さんの参加をお待ちしています。

防犯カメラの設置

市内に防犯カメラはどのくらい設置されているのか。今後どのくらい増設するのか。

——平成27年度から犯罪抑止のために付けた防犯カメラの設置数は、22カ所で計44台です。今年は10カ所20台の予算を確保しています。場所については警察と相談して決めていて、大きな交差点にはおおむね設置しています。友部駅・岩間駅はいたずらが多いので増設を予定しています。犯人逮捕につながった事例もあるので進めていきたいと考えています。

マイナンバーカード取得率

マイナンバーカードを取得している割合はどのくらいか。カードを持つメリットや使い道は。

——市内でマイナンバーカードを取得している方は約1割くらいです。マイナンバーカードは、全国コンビニエンスストア（一部不可）で住民票や所得証明書、課税証明書、印鑑登録証明書をコンビニエンスストアの交付規定時間内（午前6時30分～午後11時）で取得することができます。身分証明にもなりますのでぜひ取得をしていただければと思います。

※現在は子育てワンストップサービス、マイナポータルの運用開始、個人認証を利用した地域経済応援ポイントなど、活用の範囲が広がってきています。

イノシシの駆除対策

駆除対策や補助金について教えてください。

——被害の拡大を受け、平成28年度からは電気柵設置の補助額の上限を2万円から3万円（設置面積1ha以上）へ増額しました。

また、地域でイノシシ駆除を行う場合に、箱罾の貸し出しを行っていただきます。さらに、狩猟免許の取得には約1万3000円がかかるため、それに対する補助を行います。

しかし、狩猟免許の更新料については補助は行っていません。これに関しては地域の方と話し合い、区費等から出してほしいと考えています。地域の代表者が補助を使って免許を取得し、地域で組織を作って罾の見回りをを行い、罾にイノシシがかかって処分できなければ市へ連絡するといった体制で実施していきたいと考えています。

なお、今年度から狩猟免許を所持している方で、イノシシを駆除した場合に、1頭5000円の補助金が出る制度をスタートしました。

遊休農地の活用方法

栗を活用して農地を遊ばせないために、市の収入も考えた取り組みを考えてもらいたい。

——笠間の栗は有名になってきました。すると今度は生産量が課題となってきました。首都圏の事業者は、後継者不足で栗の供給が将来的に心配だと言います。市としては現在の生産者が

規模を拡大してくればいいのですが、難しいようです。そのため、市農業公社が栗の農地を確保する事業を始めました。

今後は加工品も取り扱っていこうと思っています。生栗ではなく、むき栗、甘露煮、ペースト状の栗の需要があります。同時に、栗栽培の人材も探しています。週に3日から4日ぐらい出勤して、枝の剪定等をしていただける方を募集しています。

広報かさまの配布

広報紙の内容はホームページでも見ることができると、全戸配布ではなく回覧にしようか。

——紙媒体の広報紙がなくなってしまおうと高齢者などはホームページが見られないという意見が多くあるのも事実です。紙媒体と電子媒体の両方とも必要であると考えています。

プロゴルファー誕生について

新たにプロゴルファーが誕生したと聞いた。

——ご承知のように女子プロゴルファーでは畑岡奈紗さんが活躍していますが、今年になって金澤志奈さんがプロに転向して、岡山県で行われた大会で優勝をしています。また、昨年プロになった佐久間綾女さんもいます。

男子では、星野陸也君もプロになっています。男子では、今年の穴戸ヒルズCCで行われた日本ゴルフツアー選手権に出場しています。それぞれの活躍に今後も期待しています。



星野陸也プロ



佐久間綾女プロ



金澤志奈プロ